

【三重県】土地改良を契機とした農村地域の振興事例集

市町村	地区名等	タイトル	頁	発行月	Vol.
熊野市、御浜町	金山南部	みかんの高品質化と経営の多角化を通じた地域づくり	1	H29.08	3
いなべ市	両ヶ池	防災重点農業用ため池の耐震対策により周辺地域の安全安心を確保	2	R3.03	7
松阪市	朝見上	基盤整備を契機としたハウスの集約化と高収益農業の実践	3	R4.03	8
度会郡玉城町	原	基盤整備を契機とした高収益作物(キウイフルーツ)の導入	4	R5.03	9
御浜町	黒岩池	人口減少下における地域一丸となって取り組むインフラの適切な保全管理	5	R7.03	11

【工夫のポイント】

- 施設の更新と併せて**点滴かんがい施設（マルチドリップ方式）を導入**することにより、従前よりも高糖度なみかんを生産。
- みかんの生産に加えて、**直売施設による加工品等の販売や体験農園**など農産物の高付加価値化にも取り組んでいる。

【取組地域の概要】

- 位置 くまのし みはまちよう
三重県熊野市、御浜町（特定農山村等）



- 主要作物
・みかん
- 主な支援施策
・県営開拓パイロット事業（S39～S45）
・中山間地域総合整備事業（H13～H28）
・農免農道事業（H19～H24）
・農山漁村地域整備交付金（H19～H28）
（農地整備事業（畑地帯担い手支援型））
・農業主導型6次産業化整備事業（H26～H27）

基盤

かんがい方法の高度化と生産コストの低減

貯水施設の更新や点滴かんがい施設の新設を行うことで、**樹木への適時適量な用水供給が可能**となり、高糖度のみかんを生産。園内農道の整備により、労働時間や生産コストの低減にも貢献。



基盤整備 (H19年～H28年)

【整備前】

昭和40年代に実施した県営開拓パイロット事業等により、かんがい用水の確保された樹園地にて、スプリンクラーによるかんがいを実施していたものの、**かんがい施設の老朽化や農道の侵食**などが課題となっていた。



生産現場

マルチドリップ方式で高品質化

- シートマルチと点滴かんがいを組み合わせた「**マルチドリップ方式**」を採用。散布時のロスを少なくすることで、**用水や肥料の消費量を最小限に抑える**とともに、みかんの**高糖度化、高品質化を実現**。



加工や体験農園による高付加価値化



- **規格外のみかんの加工（ジュース）や直売施設の開設**など、6次産業化による農産物の高付加価値化を推進。



- また、**みかん狩りやブルーベリー狩りなどの体験農園**により、農業を通じた都市住民との交流を図り、地域農業を活性化。（平成28年来園者数4,955人）

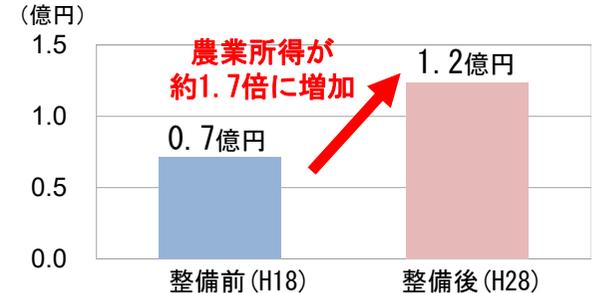
加工・流通

所得向上を図りみかんの産地を維持・向上

- マルチドリップ導入で、更に**高品質なみかんの生産**を行うとともに、農道整備でアクセス性が向上した農園・直売施設で**多角的な経営**を実施しており地域の核となる農業法人の**所得向上を実現**。みかんの産地としての地域づくりを後押ししている。



金山南部地区の農業法人Aの農業所得の変化



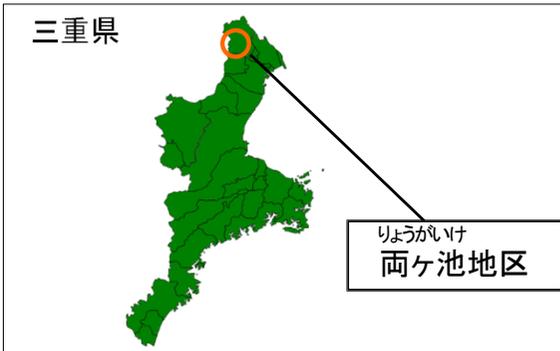
【出典：法人聞き取りをもとに三重県で推計】

【工夫のポイント】

- 地震や豪雨によるため池の決壊により、農地や住居、集客施設である公園等に甚大な被害が発生するおそれ。
- ため池の耐震化工事により、ため池の決壊及び下流域の被害を未然に防止。
- あわせてハザードマップを作成し住民に周知。防災意識を向上。

【取組地域の概要】

- 位置
三重県いなべ市



- 主要作物
・水稲、小麦 等
- 園芸導入
・きゅうり、トマト、なす
- 主要施設
・ため池 1か所
- 主な支援施策
・県営ため池等整備事業 (H28～R2)

ため池下流地域の被害を防止

- ため池の耐震化工事を行うことによって、農地や住居、公園施設等の下流域の安全を確保。
- 地震対策と併せて豪雨対策も実施。



基盤整備 (H28年～R2年)

基盤

【整備前】

ため池の直下流には優良な農地や住宅地の他「両ヶ池公園」が隣接しており、決壊した場合、甚大な被害が発生すること想定。



農業経営の効率化と作物栽培への取組

生産現場

- 安全が確保された下流域の農地では、ほ場整備により集積が促進されるとともに、大型機械の導入が可能となり水稲を効率的に生産。
- 営農の効率化により生じた余剰労働力を活用し、きゅうりやトマト、なす等の栽培にも取り組む。



ハザードマップを活用した防災意識の向上

地域の取組

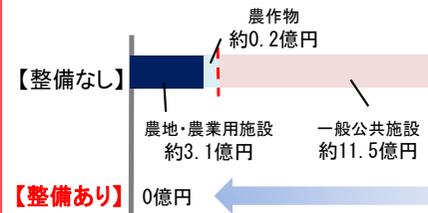
- 耐震化工事と併せて、ため池ハザードマップを作成し住民に周知するとともに、地域関係者で防災情報を共有することで地域住民の防災意識が向上。



浸水被害の未然防止に貢献

- 地震・豪雨によるため池決壊を防ぐことで、被害軽減に貢献し、高い防災減災効果を発揮。
- ため池ハザードマップによる地域の防災意識の向上との相乗効果により、さらなる国土強靱化を図る。

農業関係想定被害額



○ 約14.6億円の想定被害を未然に防止。

- 地域の防災意識が高まり、自治会による自主防災訓練の実施や防災勉強会など防災活動が活性化。



【対策のポイント】

- 基盤整備を契機とし、点在していた施設園芸用ハウスを集約化し、農作業効率を向上。
- ハウスの集約化に伴う各営農者間の情報交換により、生産技術の向上と販路の拡大。
- 区画整理とかんがい施設の整備により、高収益作物の生産が拡大。

基盤整備を契機としたハウスの集約化

- 基盤整備(区画整理)を契機として、点在していたハウスを集約化することにより、農作業効率が向上し、高収益作物の安定的な生産を実現。

基盤



基盤整備
(H21年~R4)



【取組地域の概要】

- 位置
まつさかし
三重県松阪市



- 事業名
水利施設整備事業(H21~R4(予定))
- 主要作物
水稻、小麦、大豆、いちご、ねぎ、きゅうり
- 受益面積 165.4ha
- 主要工事
区画整理:165.4ha

生産環境の改善による収量・品質向上や直販・通販による販路拡大



- 施設内の温度管理について、センサーによる自動換気設備を導入し、省力化を図りつつ生産環境を最適化し、収量と品質向上を実現。



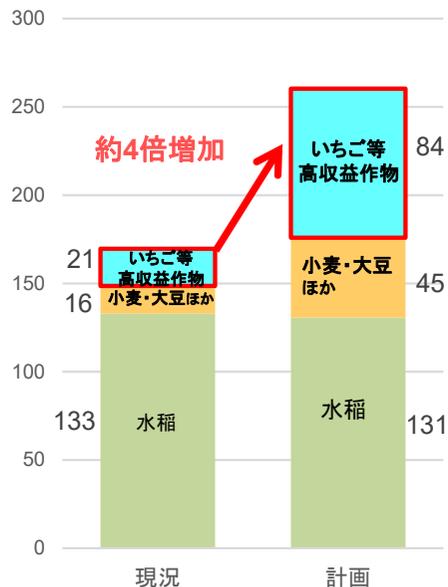
- JAIに集荷するほか 直販施設や地元菓子店への納品など販路を拡大。
- 贈答用商品の通信販売に取組み、高付加価値化を実現。

地域の取組

高収益作物の作付け拡大

- 区画整理に伴うハウスの集約化とかんがい施設整備を併せ行い、高収益作物の作付けを拡大。

(百万円) 地区内における生産額



高収益作物の作付け面積を4.0haから11.8haに拡大



対策の効果

【工夫のポイント】

- 柿や桃の販売価格の低迷や生産者の高齢化に伴い、増加していた遊休地を活用するため、地権者約50人の土地を営農法人が一手に借受け、集積・集約。
- ICTを活用したかん水管理と養液栽培により営農労力を節減。
- 防風ネットの設置や数値による科学的な農業へ移行を図り、高収益作物(キウイフルーツ)の栽培に適した営農環境を整備。

【取組地域の概要】

- 位置 わたらいぐんたまきちょう
三重県度会郡玉城町(半島)

三重県

はら
原地区



- 主要作物
・キウイフルーツ
- 主な支援施策
・農地耕作条件改善事業(R1~R5)

キウイフルーツ園地への転換

- 遊休地を含む約7.3haの農地全ての集積・集約を図るとともに、高収益作物(キウイフルーツ)の生産に適した営農環境の整備を早期に進めるため、生産者自らが事業主体となり、ハードとソフト対策を実施。



基盤整備
(R1年~R3年)

【整備前】

柿を主体とする樹園地だったが、販売価格の低迷、後継者不足などの課題により、営農の存続が難しく遊休農地が増加。



基盤

生産現場

担い手

加工・流通

キウイ生産のための基盤整備を実施

- ICTを導入し、土壤水分を計測することで、適切なかん水管理と養液栽培に切り替え営農労力を節減。
- 防風ネットや果樹棚を設置し、キウイ栽培に適した営農環境を整備。



先進地の栽培技術等の導入

- 地域の担い手である「農地所有適格法人浅井農園」は、先進地であるニュージーランドから新しい栽培技術や品種を取り入れ、科学的農業へ移行して経営の安定化を図る。



メーカーと連携したブランド化

- キウイ販売大手メーカーと連携し、三重県玉城産ブランドとして販売。
- キウイの出荷時期は、南半球の4月~10月頃に対して、北半球の日本は11月~3月頃であり、流通が確保できる。

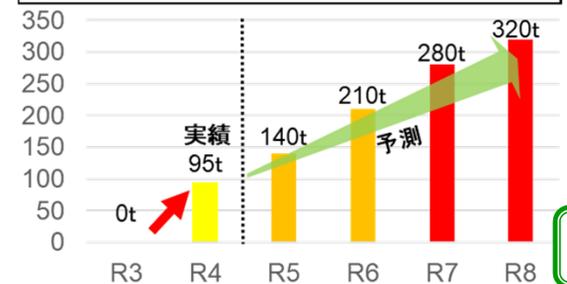


高収益作物(キウイフルーツ)の導入による新たな特産品の創出

- 本州最大級の「玉城キウイ園地」7.3haにおいて令和4年度初収穫を行い95tを収穫。
- 土壤水分等の計測や適切なかん水管理により将来的に年間300t程度の収穫を目指す。
- 今後、玉城町の事例を参考に県内に30haのキウイ園地の開発を行うとともに、出荷規格外品を活用したスムージーやアイスクリームなどの加工品を展開し、地域の活性化に繋げていく。



キウイフルーツ収穫実績・予測量(約7.0ha)



【工夫のポイント】

- ため池の整備により、**決壊による被害を未然に防止**。
- 広報活動により、黒岩池の価値向上につながり、**多様な人材が関わり合い**、黒岩池を守る取組が増加。
- 管理道路や農道の整備、水位監視カメラの設置により、**維持管理の省力化・効率化**を図る。

【取組地域の概要】

○位置 みなみむろぐんみはまちょう
三重県南牟婁郡御浜町

三重県



くろいわいけ
黒岩池地区

○主要作物
・柑橘、水稻

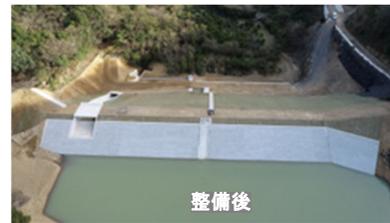
○主な支援施策

- ・農村地域防災減災事業黒岩池地区(R4～R7)
- ・農村地域防災減災事業御浜地区(R6～R8)
- ・農村振興総合整備事業御浜南部3期地区(H30～R9)
- ・多面的機能支払交付金(H26～)

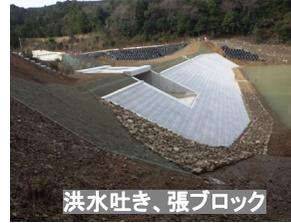
江戸時代に築堤されたため池の防災工事

基盤

- 堤高を14mから4m下げて、必要貯水量を確保し、**耐震補強を実施**。
- **洪水吐きの断面を0.24m²から13.68m²へ57倍拡張し、流下能力を向上**。
- **遠隔監視**を可能にしたことで**監視体制を強化**。



整備後



洪水吐き、張ブロック

基盤整備
(R4年～)

【整備前】

江戸時代に築堤された黒岩池は、築堤後約400年間補修改修がされておらず、**地震及び豪雨の際に決壊の恐れ**。



取水施設の劣化
堤体の耐震性能不足

整備前の黒岩池



木製底樋

石製斜樋

維持管理の省力化・効率化

施設管理

- 地域営農の変化を踏まえ、**堤高を14.0m→10.0m**にすることにより、除草等の**維持管理に要する法面が189m²減少**。



法面の草刈り状況

- **水位監視カメラの設置**により、豪雨時の**1時間かかる見回りが廃止**され、管理者の**作業負担を軽減**。
- 防災工事を契機に黒岩池を**多面的機能支払交付金の活動エリア**に加え、**保全管理体制を構築**。

ため池を題材にした教育の実施

地域の取組

- 黒岩池の築堤に関わりのある大久保宗悟氏を題材とした地芝居である「**西ノ平開田記**」を現代風にアレンジした「**紙芝居**」を地域で作成。
- ため池防災工事と木製底樋や石製斜樋等の当時の高い技術力を地域住民に知ってもらうため、**現場見学会を開催**。
- 築堤当時の技術である「**石製斜樋**」の**常設展示**を地元の福祉施設で実施。



現場見学会の様子

広報や教育によりため池適正管理の意識を醸成

- 令和5年10月25日に開催した現場見学会の参加者23名からのアンケート結果では、満足85%、やや満足15%と**高い満足度**を獲得。



- 約1年間で**新聞で10回、TVメディアで2回発信されたこと**で**地域への認知向上につながった**。
- 黒岩池の紙芝居がお寺の行事や小学校の授業で取り入れられたことで、**将来にわたり適正な管理がされるよう地域住民の意識を醸成**。

防災対策による営農の維持

- 防災対策により、御浜町の主産業である**柑橘栽培の営農が維持**。
- 本州で最も早い時期に出荷される超極早生温州みかん「**みえ紀南1号(味1号)**」の栽培を促進。**令和5年産は栽培面積54ha、生産量750t**。

